

新潟県新潟市古町方言のアスペクト

大橋 勝男

I. はじめに

- (1) 調査対象地： 新潟市古町は、新潟市の最中心の地である。新潟市の最繁華街であり、地方共通語の最典型的の行われている地域といえる。
- (2) 調査年月日時： 1993年12月13日午後1時～5時
- (3) 話者： 風間恒一 大正13年2月22日生(70歳) 会社員
- (4) 調査者・調査場所： 大橋勝男、新潟大学大橋研究室(話者の御好意による)
- (5) 調査方法・調査時の状況： 『方言資料叢刊』第4巻編集事務担当幹事作成の「日本語方言アスペクト調査要綱」及び「調査項目(場面設定・質問文言)」に基づいての質問調査。
調査項目により、当方言の一般的表現習慣に馴染まないものがあり、かなり回答に戸惑いや、難渋があった。
- (6) 表記方法： なるべくアスペクト該当部に絞って記述する。実際には、文末詞等が付く場合でも、それは記述しない。ただし、それがアスペクト該当部と密着していて切り離せないものは、それも記す。また、修飾語との呼応を必要とするものは、修飾語も併せ記す。
話者のコメント・共通語訳等は、()中に記す。
調査者のコメント等は、*印のあとに記す。

II. 調査結果

1. (昔は)よく行ったものだね $\bar{\text{ヨ}}\text{ー}$ $\text{イッ}\bar{\text{タ}}\text{モンダ}$ (全員この言い方。)
2. (あのころは)おもしろかったなあ オモシ $\bar{\text{エ}}$ カッタ
3. (もうちょっとで)落ちるところだった オチ $\bar{\text{ル}}$ $\bar{\text{ト}}$ コラ $\bar{\text{ッ}}$ タ
4. (今にも)落ちそうだよ オチ $\bar{\text{ソ}}\text{ー}$ ゲラ *「オチソーダ」も言えなくはなさそうに思われるが、一般にはこう言う。「そう」に相当する当方言形は、「ソーゲ」である。
5. (財布を)落として オ $\bar{\text{ト}}$ シチ モー テ
6. 困っている ① コ $\bar{\text{マ}}$ $\bar{\text{ッ}}$ テ $\bar{\text{ッ}}$ テー ② コ $\bar{\text{マ}}$ $\bar{\text{ッ}}$ テン サー *①②は、添接する文末詞が異なるだけで、アスペクトは同じ。
7. (一本の蠟燭が今にも)消えそうだよ ① ト $\bar{\text{モ}}$ $\bar{\text{ル}}$ ② キ $\bar{\text{ニ}}$ $\bar{\text{ル}}$ (①が主。)
*活用語の終止形で、「～そうだ」の意も表してしまう。
8. (今)消えようとする ① モ $\bar{\text{ー}}$ スグ $\bar{\text{ヒ}}$ ガ $\bar{\text{ケ}}$ $\bar{\text{ー}}$ $\bar{\text{ル}}$ ② モ $\bar{\text{ー}}$ スグ $\bar{\text{ヒ}}$ ガ $\bar{\text{キ}}$ $\bar{\text{エ}}$ $\bar{\text{ル}}$ (①が主。) *「モー スグ」という修飾語が必要。
9. (完全に)消えた ① ケ $\bar{\text{ー}}$ $\bar{\text{タ}}$ ② キ $\bar{\text{ー}}$ $\bar{\text{ッ}}$ チ モー $\bar{\text{タ}}$ (①②両用。)

10. (すでに) 消えていたよ ①キータ ②キータ *②は①の音転形に過ぎない。
11. (何本もの蠟燭が順に) 消え始めた ①ハジカラ キエテク ワイ ②キータシタ (「キエカカタ」という言い方があるが、それは、未だ消えていない状態。「キエカケタ」という言い方もあるが、それは、風に揺らいている状態のこと。)
12. (何本もの蠟燭が次々に) 消えていくなあ ケーテグ
13. (何本もの蠟燭が順に) 消えているよ ①キータグ ②ケール (①②両用。)
14. (何本もの蠟燭が全部) 消えているよ ①ケーテ シモーテル ②ケーテ シモータ (①②両用。)
15. (何本もの蠟燭の火を次々) 消しているよ ケシテグ
16. (もう全部) 消しているか ケシテルカ
17. (今にも桜が) 散りそうだ チリソゲラ
18. (ちらほらと) 散り始めた ソロソロ ハエー チリハジメタ (そろそろもう散り始めた)
19. (今現に) 散っている ①チッテル ②チッテグ (①②両用。)
20. (桜の木がすっかり) 散っている オッテ シモータ (落ちてしまった)
21. (地面一面に) 散っている ①チッテ シモータ ②オッテ シモーテル (落ちてしまってる) (①②両用。)
22. 今にも降りそうだ ①モー スグ フッテ クル ②イマニモ フリソゲラ (今にも降りそうだ) (①②両用。)
23. (あの時は今にも雨が) 降りそうだったなあ フリソゲラッタ
24. (あの時はもう実際に雨が) 降っていたよ フッテタ
25. (あの時はやがて夜が) 明けようとしていたよ ①アケカケテ キタ ②アケヨト シテタ (①②両用。)
26. (来年の今ごろは家を) 建てている ①タテテル サイチューラ (建ててる最中だ) ②タテテル (①②両用。)
27. (来年の今ごろは家をすでに) 建てている ①タチアガッテル ②タチアゲテル ③ウチ タッテル (家が建ってる) (①②③両用。)
28. (あの家はよく) 磨いてある ミガイテ アル
29. (隣の犬が) 鳴いている ナイテル
30. (隣の子が) 泣いている ナイテル
31. (こどもたちが) 喧嘩している ケンカシテル
32. (家に) いるかなあ イルロツ カ (いるだろうか)
33. (〇〇さん) いるか ①イル カ ②イタ カ (②が主。)

34. (ああ) いるよ イル
35. (そういう人も) いるよ イル
36. (あなたは今何を) していたか ①シテタ ②シッタ *②は①の音転形。②が一般形。
37. (私は今金魚を) 見ていたよ ①ミテタ ②ミッタ *②は①の音転形。②が一般形。
38. (金魚が今にも) 死にそうだ シニゾゲラ (死にそうだ)
39. (やっぱり金魚は) 死んでいたよ シンデ シモーテタ
40. 読み始めていた ①ヨミハジメテタ ②ヨミカゲテタ (①②両用。)
41. 読み始めたところへ(～た) ヨミハジメタ トコエ
42. 着くと同時に～した ①ツク スグ ②ツイタ トタン (①②両用。)
43. 着くと同時に～してくれ ツイタラ スグ
44. 鳴りつづけている ナリッパナシ
45. (先生は今何を) しているか ①シテ ナサイマス カ ②シテ イラッシャイマス カ ③シテ オラレルンデス カ (①が一般。)
46. 好きだ スキラ (好きだ)
47. 見られているのも ミラレテル
48. (今、運動会が) ある ヤッテル
49. (降らなくて) よかったよ イカッタ
50. (先生がこっちへ) 来つつある コラレル
51. (犬がこっちへ) 来つつある ムカッテ クル
52. 似ている ニテル
53. (一週間も前から遊びに) 来ている ①キテル ②キテ イル (①が主。)
54. (昔から) 苦勞していない クローシテ ネー
55. (今はあまり) 苦勞しないでいる ①クローシネァーデ イル ②クローシテ ネー (①②両用。)
56. ～は売っているが、～は売っていない ①～ワ ウツテル ロモ、～ワ ウツテ ネー ②～ワ ウツェン ラロモ、～ワ ウツテ ネー (①②両用。)
57. (昔からタバコを) 売っている ウツテル
58. (今、大売り出して衣料品を) 売っている ウツテル
59. (もう三回) 来ている キテル
60. (いつも) 来ている キテル
61. (昔はいつも) 来ていた キテタ
62. (前に一度) 行っている イッテル (イッタ コトガ アルとも)
63. 先に行っておいてほしい ①イッテレ (行つてろ) ②イッテテ (①②両用。)

64. 待っていなさい マッテナサイ
65. (外に) 待たせてあるよ ①マタセテ アンダ ②マタシテンダ (①②両用。)
66. 食べておいておくれ タベテレ (このようにしか言わない。)
67. (昔と) 違っている チゴートル
68. (昔は今のと) 違っていた ①チゴータ ②チゴータッタ (②の方が強調気味。)
69. (毎日梅干しを) 食べている タベテル
70. (毎朝) している シテル
71. 気をつけていて (～した) キツケテルガンネ (気をつけているのに)
72. 行ったまま～ ①イッタママ ②イッタキリ (そのような場合イッタキリスズメなどというおどけた言い方がある。)(①②両用。)
73. ～しながら シナガラ
74. ～の途中で～する ①イキシナニ ②イグ トチューニ (①が主。)
75. ～の途中で～した ①イグ トチューデ ②イキシナニ (②が主。)
76. ～の途中で止めて～した ①ヨミカケテ ②トチューデ (①が主。)
77. ～したばかりだ ヨンダバツカラ (読んだばかりだ)
78. 無くなっている ①ア ナッタ ②ア ナッテル (①が主。)
79. 無くなるぞ ア ナル (これでテシマウの意味にもなる。)
80. 掛けておいた帽子 カケトイタ
81. 並んだ本 ①ナランダ ②ナラन्दル (①②両用。)
82. 並べた本 ナラन्दル
83. ～しておこうか ヨンデ オコー
84. やってあるか ヤッテ アル
85. 壊している ボッコシテル
86. 壊れている ①ボッコシタ ②ボッコシテル (①②両用。)
- * 孫の立場から見ての言い方か。
87. 壊されている ボッコサレテル
88. のけてある ①マタジシトク (片付けておく) ②カタスケテ アル (①古。)
89. 書き終わった カキオワッタ
90. 書いてしまいなさい ①カケ (書け) ②カITE シマエ (①が主。)
91. 書いてしまう ケアーテ シモー
92. 書いてみた カITE ミタ
93. (孫は今) 入院している ニューインシテル
94. (弟も今) 入院しているようだ ニューインシテルラシー
95. (きっと) よくなるよ ヨー ナル

96. (だんだん)よくなるよ ヨー ナル

97. 歳とるとね、 ①トシ トット ②トシ トッテ クット (①が主。)

98. なおらなくなるよ ナオラナク ナッテ クル

99.

(1) (犬が)怪我したので ケガシタンデ

(2) (こどもが)怪我したので ケガシテ シモータンデ

(3) (お父さんが)怪我したので ケガシタンデ

(4) (雨が)降ってきたので フッテ キダスケァイ

100.

(1) 「雨が降りつつある」すでに降っている最中で、地面は濡れている。B「今、ぼつぼつ降り始めた」状態とB「すでに盛んに降り続けている、降っている最中である」状態との中間の状態。要するに「降り続けている状態」を言う。

(2) 「貯金が増えつつある」 A「貯金が少しずつ増えようとしている」状態。

(3) 「貯金を増やしつつある」 C「すでに現にかなり増やしている最中」の状態。

III. 総括

(1) 共通語と比較しての当該方言アスペクトの特色

イ. 終止形の言い方でアスペクトの多種のものを併せ表す傾向がある。

例

7. (一本の蠟燭が今にも)消えそうだよ ①トモル ②キール (①が主。)

*活用語の終止形で、「～そうだ」の意も表してしまう。

13. (何本もの蠟燭が順に)消えているよ ①キーテグ ②ケール (①②両用。)

50. (先生がこっちへ)来つつある コラレル

79. 無くなるぞ ノー ナル (これでテシマウの意味にもなる。)

イ'. ないしは、修飾語をとり、それとの呼応によって終止形の言い方でアスペクトの多種のものを併せ表す傾向がある。

例

8. (今)消えようとする ①モー スグ ヒガ ケール ②モー スグ ヒガ キエル (①が主。) *「モー スグ」という修飾語が必要。

22. 今にも降りそうだ ①モー スグ フッテ クル ②イマニモ フリソゲラ (今にも降りそうだ) (①②両用。)

ロ. 「～ておく」に対応する有形式は、一般にとられず、直叙形になる。

例

63. 先に行っておいてほしい ①イッテレ (行つてろ) ②イッテテ (①②両用)

66. 食べておいておくれ タベテレ (このようにしか言わない。)

ハ. 命令・依頼等、相手を動かそうとする意の表現に、細かなアスペクトを伴うものは、

そのアスペクトの意を形式化せず、単純に命令形で表してしまう傾向がある。

例

90. 書いてしまいなさい ①カケ(書け) ②カ^マイテ シマ^マエ(①が主。)

63. 先に行っておいてほしい ①イッテ^レ(行ってろ) ②イッテ^テ(①②両用)

66. 食べておいておくれ タベ^レテ^レ(このようにしか言わない。)

ニ. 変移結果の現状を表す場合、単に「タ」によっても、それが表せる。

例

14. (何本もの蠟燭が全部)消えているよ ①ケー^テ シモー^テテル ②ケー^テ シ
モー^タ(①②両用。)

21. (地面一面に)散っている ①チッ^テ シモー^タ ②オッ^テ シモー^テテル(落
ちてしまってる)(①②両用。)

78. 無くなっている ①ノー^タ ナッタ ②ノー^テ ナッ^テテル(①が主。)

ホ. 人の在否を言う表現においては、現在形のほかに、「タ」による、一種の現在完了
(継続)的な言い方がよく用いられる。

例

33. (〇〇さん)いるか ①イル^カ ②イタ^カ(②が主。)

ヘ. 過去・回想的な意の表現に、「タ」のほかに「タッタ」が用いられる。

例

68. (昔は今のと)違っていた ①チゴー^テタ ②チゴー^テタッタ(②の方が強調
気味。)

(2) 調査項目以外の特記事項

1. こんにちは(訪問辞) ドー^シタ^エー(どうしているかい) *現在形よりこの
形で習慣形となっている。

2. そろそろ(ほちほち)始めよう ソロ^{ット} ハジ^メッ カネ^ー(そろそろ始めるか
ねえ——始めようかねえ)

(おおはし かつお 新潟大学)